

生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくりま

生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくりま



生涯学習相談会（平成24年9月）

5年後のめざす姿

- 区民が、身近な地域で、生涯学習*1に取り組んでいます。
- 区民が、学習の成果を地域社会に還元しています。

これまでの成果

- 計画策定当初、区民が自主的に企画運営する講座の支援やボランティア活動につなげるコーディネート*機能を強化する必要がありました。区は、区民が生涯学習*に取り組みやすい環境の整備、人材育成、文化を大切にするまちづくりを進めてきました。
- 団塊の世代*2を中心に、自らの生きがいや地域への関心から主体的な学習意欲を持つ区民が増える中、特にリーダー養成講座の実施や講座修了者の自主活動への支援、情報提供や学習相談業務の充実に取り組んできました。
- 養成講座などで学んだ生涯学習リーダーによる講座の企画実施、生涯学習相談、情報紙編集への関わりなど、区民同士で学習を支え、学び合う環境づくりが進みました。
- 講座がきっかけとなり、地域学習、災害、子育て、学校支援などのグループが生まれ、学校や地域活動団体と連携した活動も増え、六郷用水に関する冊子の発行、馬込文士村*3まち歩きイベントの実施など、区の歴史・文化の継承につながる取り組みが進みました。
- 図書館では、入新井図書館の改築のほか、読み聞かせや障がい者サービス、学校図書館への支援など、区民活動団体との協働*による図書館づくりを行ってきました。川端龍子記念館の所蔵品や郷土博物館で所蔵する川瀬巴水コレクション*4などは、区の貴重な文化資源となっており、特別展示など活用を進めています。

現状と課題

- 今後も、区民の生涯学習*の裾野をさらに広げるとともに、歴史文化を大切にする地域づくりを一層進めていくためには、ICT*を活用した効果的な情報提供やきめ細かな相談対応、図書館を活用した、学習環境の整備を充実していくことが求められます。
- 生涯学習リーダーなど学びの成果を活かして地域づくりにつなげていくための人材を、さらに育成する必要があります。
- 区民の主体的な生涯学習*の推進にあたり、人と人、学習と活動をつなげる場として、情報提供、相談、団体活動支援機能を有する拠点の整備が求められています。図書館との連携による地域情報拠点の整備も重要です。
- 図書館は、老朽化する施設の改築、改修を進めるとともに、ICT*の進展や時代ニーズ*に対応したサービス提供、地域特性に着目した資料収集など、地域情報拠点として整備することが求められています。団塊の世代*など区民が主体的に学ぶ場として整備することが重要です。
- 地域の歴史・文化資源は、地域の誇りであり、後世に残すべき重要なものです。今後もその情報整理と活用を図り、地域文化として継承するための環境整備を進めていきます。

指標に注目!

めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
区民1人あたりの図書館の貸出冊数(点)	6.4点 (平成20年度)	—	8.0点 (平成24年度)	10.4点

施策の体系

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくりま

1 区民の主体的な生涯学習*の仕組みづくり

- 生涯学習*情報の提供、相談事業の充実
 - ↳ 社会教育情報紙・生涯学習ガイドの発行、生涯学習*相談など
- 区民への生涯学習*の機会の提供
 - ↳ 区民大学、家庭・地域教育力向上支援事業、日本語読み書き教室など
- 区民の企画運営事業の充実
 - ↳ 区民大学(区民企画講座)、団体との連携講座や自主講座支援など

総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援(再掲1-2-5)

図書館を活用した学習環境の整備・展開

2 学びの成果を活かした支え合いの地域づくり

- 生涯学習センターの整備・機能の充実
- 生涯学習リーダーの育成
- おおた地域力発見倶楽部の発行(再掲3-1-1)

3 歴史・文化を大切にする地域づくり

- 郷土博物館等の総合的活用
 - ↳ 特別展の開催、各種体験学習会の開催、海苔つけ体験など
- 地域の歴史・文化資源の活用
 - ↳ 文化財啓発普及講座、史跡めぐり、埋蔵文化財緊急調査など

参考データ



*1 生涯学習

生涯を通じて、生活や職業能力の向上、自己の充実等をめざして、自発的意思に基づいて行う学習・文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア活動など。

*2 団塊の世代

戦後、数年間に生まれた世代。堺屋太一氏が命名し、「昭和22(1947)年から24(1949)年頃までに生まれた人々」をさす。

*3 馬込文士村

大正後期から昭和初期にかけて馬込村を中心に川端康成、尾崎士郎ら多くの文士、芸術家が暮らしていた地域の呼称。

*4 川瀬巴水コレクション

生涯に約700点の作品を制作し、日本国内に限らず海外にも知られ、多くの愛好家がいる版画家である川瀬巴水の作品群。昭和32年に亡くなるまで区内を中心に活躍した。

施策の方向性と主な事業

1 区民の主体的な生涯学習*の仕組みづくり

誰もが気軽に身近な地域で生涯学習*に取り組める環境を整え、人と人が交流し、学びあえる仕組みづくりをめざします。

主な事業

■ 総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援 (再掲1-2-5)

■ 図書館を活用した学習環境の整備・展開

老朽化の進んでいる図書館の改築・改修にあたっては、地域特性を活かした情報拠点として機能の向上を図ります。子どもから高齢者までの区民の学びの場となるよう環境を整備します。

		(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
図書館の改築・改修	六郷図書館の改築				工事 竣工			
	老朽化館の改築・改修			推進				継続
図書館サービスの充実	インターネット*環境の整備			運用・活用				継続
	学校図書館との連携	検討		推進				継続
	図書館資料の利用促進(子どもから団塊の世代*まで)	検討		推進				継続

2 学びの成果を活かした支え合いの地域づくり

区民が学習の成果を活かし、主体的に生涯学習*や地域活動を進めていく支え合いの地域づくりを進めます。その活動拠点としての生涯学習センターを整備し、図書館など既存の施設との連携により、その機能の充実を図ります。

主な事業

■ 生涯学習センターの整備・機能の充実

区民の生涯学習*や地域活動を推進する拠点の整備を進めます。区民との協働*による学習相談、情報発信、自主講座開催の機能の充実を図ります。その機能を地域に広げるために、図書館やその他の施設との連携を進めます。

		(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
生涯学習センターの整備	情報相談コーナーの設置・運営							継続
	生涯学習センターの設置・運営							継続
機能の充実	生涯学習*相談会の開催			拡充				継続
	区民による自主講座の実施	検討		実施				継続

■ 生涯学習リーダーの育成

区民が学習の成果を活かし、主体的な学習や地域づくりができるよう人材育成や活動の支援をします。学習や地域活動を行う団体等との連携を進めます。

		(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
生涯学習*人材育成講座の実施	講座の実施				実施			継続
	連絡会の開催							継続
講座修了者の活動支援	情報交換・協議							継続
	活動の場の提供							継続

■ おおた地域力発見倶楽部の発行 (再掲3-1-1)

3 歴史・文化を大切に作る地域づくり

郷土博物館をはじめとする大田区ならではの歴史と文化が継承される環境を整備し、区民活動団体との連携や歴史・文化の保存・継承の活動を支援するとともに、23区中第3位の保有数である都・区指定文化財を保護・活用しながら、次世代に継承します。

主な事業

■ 地域の歴史・文化資源の活用

区民活動団体などと連携し、地域の歴史・文化の継承や発信をします。国登録有形文化財の鳳凰閣*⁵(旧清明文庫)を保存し、周辺の歴史・文化を活かした勝海舟関連資料などの展示施設として整備します。

		(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
地域の歴史・文化に関する調査研究と資料収集	調査研究				推進			継続
	資料収集						拡充	継続
区民活動団体等と連携した、歴史・文化資源の活用	連携した活用				推進			継続
	歴史・文化資源の活用							継続
鳳凰閣*の修復及び勝海舟に関する資料などの収集・展示	鳳凰閣*の修復							継続
	勝海舟に関する資料の収集・展示	基本計画・設計			施設の修復等		開設・運営	継続

*5 鳳凰閣

関東大震災の復興期に勝海舟の精神を基本に置きながら、図書の収集閲覧、学習、人材育成としての講義開催などを行う場として財団法人清明会が設置したもの(旧清明文庫)。